

日付	2019年7月23日(火)	天候	晴れ
主な日程	Visalia Citrus Packing Group, MONOROVA LUIS' NURSERY, EXETER		
時間	研修内容	研修の写真	
8:00 Visalia Citrus Packing Group	<p>「Sunkist」のブランド名で名高く、馴染みのある柑橘系フルーツ企業を訪問し、パッキング工場を見学しました。</p> <p>工場では最初の工程として、エチレングスを使用して、入荷した果実を追熟させていました。ここから出荷までのほとんどの工程が自動化されていたことが印象的でしたが、一方で、最後に行われる製品の選別作業には多くの人員を配置し、機械では目の行き届かない最終確認を人の手で行っていることに驚きました。途中の工程において規格外となった果実は、再度追熟の過程へ戻されていくそうです。</p> <p>また、この工場で使用された水は、池に貯めて蒸発させることで地下水として流さないよう工夫したり、ソーラーパネルによる自家発電を取り入れるなど、環境にも配慮したシステムとなっていることも分かりました。</p>	 	
9:00 MONOROVA	<p>広大な土地で植物を栽培している「MONOROVA」で研修を行いました。広い敷地内をバスで案内していただきました。ここでは種苗、花きの栽培をしており、4州に渡って会社の拠点があるとのことでした。生産された植物はアメリカ全土へ出荷されていくそうです。</p> <p>見学したエリアでは600名の従業員が早朝から働いていましたが、ここで働く従業員は全員がクラフトマンと呼ばれ、自分の仕事に誇りと責任を持って従事していました。</p> <p>また、会社の研究組織も持っており、ここで栽培に使用される用土は専門知識を持った技術者によって、植物の特性を考慮してそれぞれ配合されているそうです。さらには、使用する水は3カ所ある大きなため池に貯められ、飲料水と同様の水質管理を行って生産用に使用されていて、驚くとともに、環境に対する配慮も素晴らしいと感心しました。</p>	 	
11:00 LUIS' NURSERY	<p>MONOROVAからも商品を仕入れて販売している園芸販売店「LUIS' NURSERY」へ見学に行きました。会社の創業者である祖父が40年前にロサンゼルスで園芸に関する全てのことを、日本人が経営するナーセリーで習ったことが始まりだという話を聞き、アメリカの地でも日本人が農業に関わり、文化に深く根付いていることを知り、改めて世界規模の農業を実感しました。</p>		
13:30 EXETER	<p>ドローンをはじめとしたラジオコントロールのホビー用品店である「EXETER」を訪問しました。展示してあるドローンを見せていただき、その場で小さなドローンのデモ飛行も見ることができました。その後、ドローンの代わりに機械操作の実習として、私たちにもラジコンカーの走行体験をさせていただき、操縦の難しさを実感しました。</p>		
一日を終えて	<p>今日の研修で一番驚いたことは「MONOROVA」の敷地面積でした。140万坪あるという敷地は、東京ドーム100個分に相当します。広大な敷地でありながら、水の再利用や減農薬などにも積極的に取り組んでいてすごいと思いました。アメリカでは環境に配慮した農業生産が多く行われており、日本でも今以上に見習わなければいけない視点だと思いました。明日からの研修でも企業の環境に対する取組について注目して、研究したいと思います。 文責：渡邊凜</p>		